

【泉区】平成 28 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	28 年 6 月 24 日 (金) 9 時 55 分 ～ 11 時 04 分
場 所	泉区総合庁舎 4 階 消防署会議室
出席者	<p>【座 長】麓 理恵 議員</p> <p>【議 員：3 人】梶村 充 議員、源波 正保 議員 横山 勇太郎 議員</p> <p>【泉 区：33 人】下村 直 区長、荒川 義則 副区長、 堀川 尚実 福祉保健センター長、 松浦 淳 福祉保健センター担当部長 鈴木 智之 土木事務所長 有賀 太重 泉消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p> <p>【局説明員：3 人】（政策局）青木 治 政策局基地担当理事</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1) 平成 28 年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について</p> <p>(2) 平成 28 年度泉区運営方針について</p> <p>(3) 深谷通信所跡地利用基本計画（案）について</p> <p>(4) その他</p>

(1) 平成 28 年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について

横山議員：自転車マナーアップ事業における監視員の配置とはどのようなイメージなのか。

遠藤地域振興課長：自転車の放置防止、マナーアップ事業ということで、局の区配で 413 万 1 千円受けている。下飯田駅とゆめが丘駅を 1 か所として、区内 9 駅 8 か所に、朝の時間に従事者を配置している。特に立場駅は、利用する人も多く通勤通学による自転車も多いので、月に 15 日、自転車マナーアップの声掛けを行っている。また、自転車と人が交錯する場面も多いため、自転車の押し歩きをお願いしたり、スマートフォンをやめてもらうなど、監視員から声掛けをすることでマナーアップを図っている。

梶村議員：全国都市緑化よこはまフェア事業について区づくりの緑化による魅力づくり事業と、局の区配で行う事業は具体的にどのようなことを調整しているのか。また、フェアの時期は来年 3 月 25 日からだが、今年度分と来年度分の配分はどうなっているのか。

発言の
要旨

飯島土木事務所副所長：全国都市緑化よこはまフェア事業に関しては、環境創造局の区配で 760 万円受けている。区民に緑化フェアを周知することと、関心を高めるということを目的とし、一点目として、立場駅西側の植樹スペースを再整備し、花壇や樹木のリニューアルをしていく。併せて緑化フェアの横断幕等の設置により周知を進めていく。二点目として現在、和泉川沿いや四ツ谷湧水、下飯田駅前、地元団体と調整を進めながら緑化フェアに関連した花の植付けを実施していきたいと考えている。時期的には 10 月からのプレ事業に向けて立場駅での整備を進めていく。

大蔭区政推進課長：緑化による魅力づくり事業については、公園や公共施設、スポーツセンター等区民の方が利用する場所に花壇を設置し、多くの区民の方が花や緑に関心をもっていただけるような機会を創出する取組を進めていく。

梶村議員：来年度についてはどのように考えているのか。

大蔭区政推進課長：今年度整備をした場所の維持管理とあわせて、区内の公園等で花苗等の提供を行い、緑化に対する関心が継続するような取組を行っていきたい。

梶村議員：継続して行ってもらうことは必要だと考えるが、花も時期によ

って変わってくるため、工夫しながら区民の方と協力してやってほしい。特に下飯田の駅では、地域の方々がバラを含め、いろいろやったださっているの、うまくタイアップして全体で盛り上げる方法を考えてもらいたい。

(2) 平成 28 年度泉区運営方針について

梶村議員：鋼管ポール LED 防犯灯 ESCO 事業については、平成 28 年度で全て LED 化は終わるのか。

遠藤地域振興課長：鋼管ポールの LED 防犯灯については、1 月末に地域へ調査を依頼し、3 月末に 870 灯を超える申請をいただいた。泉区内では既に工事に入っており、先週の段階で 100 灯ほど設置が済んでいると聞いている。今年度中には全て終了する予定である。

(3) 深谷通信所跡地利用基本計画（案）について

源波議員：ガス検出の件を含め水質汚染については公開されていないのか。

石丸政策局基地対策課担当課長：深谷の土壌汚染調査については防衛省が昨年度概況調査を実施した。周辺の井戸等の水質を文献で調べているが、その結果では有害物質等の検出はないとのことであった。しかし、概況調査で有害物質もしくはベンゼンが出た箇所については、改めて詳細調査の中で水質についても調査を行う予定でいる。その調査結果を踏まえて対策が必要かを防衛省と協議して検討していきたいと考えている。

源波議員：様々な有害物質について解決できない問題はないと考えており、調査した結果については、つまびらかにしておくほうが区民の安心につながると考えている。横浜市の許可を得てつくった産廃施設については、年度によって浸水防止の基準がだんだん厳しくなっているの、つくった年度が分かればどのように処理をしたかが分かる。また、合法的にやっけていても浸水して有害物質が出るということも考えられるので、仮に子どもには影響しないとしても少なくとも生物には影響を与えることもある。生物多様性の観点からも、横浜市民のためという視点に立って安全性についてしっかりと考えてもらいたい。

梶村議員：暫定利用について新たな考え方を示す必要があるとは具体的に

どのようなことか。

石丸政策局基地対策課担当課長：今現在、少年野球やゲートボール等、これまでの利用を前提に、青少年育成、高齢者の健康増進という観点で利用を進めている。今回、基本計画を策定し、併せて段階的整備計画を作った際には、工事に入る箇所や、しばらく工事に入らない箇所を見極めていける。基本計画を踏まえて中長期的に暫定利用ができる場所については、どのような暫定利用をしていくのが良いのかを条件整理したうえで、現在の少年野球中心の利用から少し幅を広げた利用など考えていきたい。それについては国が実施している各種の調査結果や、地元要望等を踏まえて検討していきたいと考えている。また、水道やトイレの排水などがいないため、幅広く利用していただくうえでは、どのような利用方法や管理方法が適しているかを併せて検討しなければならないと考えている。

梶村議員：来年度はもっと幅広く使用したいということだが、時期的にはどのくらいか。

石丸政策局基地対策課担当課長：来年度方針を作成していく予定だが、管理方法も含めて方針を作成するとなると再来年度までかかるものと考えている。新たな暫定利用を進めるためには費用もかかり、整備も必要になるかもしれないため、それを考慮したスケジュールで考えている。

梶村議員：あと2年ほどは暫定利用のままだと思うが、もう少し早く、広範囲に使えることを期待する人もいるためスピード感をもって取り組んでほしい。

横山議員：外周道路について、かまくらみちと外周道路をつなぐ道にラウンドアバウトを採用するということだが、ラウンドアバウトは非常に面積を使うという難点がある。幅員が50mとするとその倍くらいは必要になる。そのため100mの円が2つ出来ると思うのだがそのようなイメージで良いのか。

石丸政策局基地対策課担当課長：現在、道路局で検討している。外周道路も車道としては二車線であり、その二車線の車道と外側からきた道路がラウンドアバウトでつながるといった想定だが、およそ50mの範囲でうまく収められないかを検討している。

横山議員：50m道路の車線は約何mなのか。理論上、外周の歩道を消していかないと100m近くの大きさになってしまうのではないかとと思われる。

る。アンダーパスの採用等を要望しようとは考えているが、道路の幅の2倍は最低必要になると思う。そのうえで50mにおさめるという考え方で良いのか。

石丸政策局基地対策課担当課長：50mの範囲内でうまくラウンドアバウトを作ればということで検討しているが、もう少し幅が必要になることもあるかもしれない。まだ検討していないが、健康みちづくりの部分がかかり幅員の中を占めているので、そのようなところを含めて検討しているところである。

横山議員：委員会でも申し上げたが、駐車場を何とかして欲しい。ちょっと遊びに行きたいときや、見に行きたいときにフレックスに停められるよう、横浜市独自に進めてもらえると行きやすくなるのではないか。地元の方にもそのように言われている。不法投棄の懸念等もあると思うが、入口を3mから5mにして、そこにカメラを設置するなどして、少し前向きに50台から100台停められるような駐車場を用意してもらいたい。アスファルトでも砂利でも構わないと思うのだがいかがか。

青木政策局基地担当理事：確かに課題はいろいろあるので、政策局と区とで知恵を絞って対応できるようにしたい。ただ、課題がそれなりにあることは確かなので引き続き研究をしていく。

源波議員：基本的に資料に書いてあることについては賛成している。そのうえで決めるところまではしっかりやり、丁寧に進めてもらいたい。いろいろな方々とお会いする中で、墓地の話もするが、自分が聞いているなかではほとんどの方は反対していない。中には声の大きな人もいると思うが、それに引きずられることなく、丁寧に説明を行っていただきたい。墓地に関して地域からどのような意見があるのか。

青木政策局基地担当理事：墓地は歓迎される施設ではないので、引き続き丁寧に説明をして必要性を理解してもらうことに努めたい。具体的にどのような声が出ているかは申し上げづらいが多様な意見が出ている。

源波議員：戸塚のメモリアルグリーンでは、墓地ができたことで、むしろ緑があふれ、自分の家の資産価値が上がった気がするという人も数人いる。イメージが昔とは大分違うと思うので、そこをよく理解してもらえようような努力をしてもらいたい。苦勞すると思うがよろしく願いたい。

源波議員：サッカー場などのスポーツ施設や防災機能の整備など、国有地であるということを含めて考えると様々なことが期待できる。イベント的なものを含めて政策局全体で考えてもらいたい。

青木政策局基地担当理事：当初の計画では大きなスタンドを作るところまでいっていないが、将来的に施設を拡充できるようスペースはとっておき、周りのスペースに余裕を持たせるような計画、設計を行っていきたいと考えている。イベントとは花博のようなイメージか。

源波議員：花博だけでなく、国有地のため色々進めやすいということもあると思うので、視野には入れておいてもらいたい。

梶村議員：環状3号線の整備を進めないといけないと考えている。国道1号から先の方が進んでいない。いずれにしても国道1号から長後街道までをつながないと環状3号線の意味がない。よく道路局と相談し、環状3号線の早期の利用の徹底化を優先的に考えてもらいたい。

下村区長：区役所の事務分掌に関する条例に仕組みが定められたが、区長として市長部局に申し上げていきたい。泉区役所にとって29年度予算を考えたときに、やはり大きな課題は深谷である。区役所としては、区民に開かれた形を早く実現したいという思いがある。また、環状3号線の事業化の考え方も早く区民に示すべきだと考えているので、区役所として道路局含め関係局に伝えていきたいと考えている。

備 考